

# 詠・読（俳句、川柳、古典文学）

俳句	<p>【金】総合科1組（午前）石井 一石、総合科2組（午後）和田 照海</p> <p>○四季折々を十七音に託し 詠んで楽しむ俳句を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然や暮らしを詠む……………入門編：俳句とは 何を俳句に詠むか</li> <li>・楽しい俳句の作り方……………俳句の形 季語 切字</li> <li>・歳時記の活用……………季節感覚を養う</li> <li>・有名俳句の鑑賞……………生き方・人生を詠む</li> <li>・句会と選句……………感性を養う</li> <li>・吟行……………「俳句は右脳から飛び出す」</li> </ul> <p>○経費 ・修了記念合同句集……………2,000 円程度</p> <p>・学級会費（年額）……………1,000 円（授業プリント代）</p>
	<p>【水】普通科（午前）、研究科（午後）田辺与志魚</p> <p>○人間及び自然を素材とする川柳を通して、自己の研鑽に努め、豊かな人生を築くことを目指す</p> <p>○経費 ・本代（川柳入門書）……………1,100 円（税込）</p> <p>・学級会費（年額）……………1,000 円（印刷代）</p>
古典文学	<p>【火】総合科1組（午前）、総合科2組（午後） 藤井 康治</p> <p>【金】総合科3組（午前）、総合科4組（午後）</p> <p>○いくつもの時代を経て読み継がれてきた古典文学の名作を楽しく読み味わいながら、日本文化の特性を考える</p> <p>○テキストは古文だが、意味のとりにくい部分には現代語訳や説明を付けている。また、テレビの参考画面なども使い、講師がわかりやすく解説しながら進めていくので、古典初心者でも楽しく学べる</p> <p>○学生祭では、古典作品の群読（みんなで読む）、百人一首や貝合わせの体験コーナーなどで参加する予定</p> <p>○各組で主に扱う作品</p> <p>1 組（火＝午前）「方丈記・徒然草」</p> <p>……鴨長明と兼好法師という二人の世捨て人が随筆で説き、今も広く日本文化の底に深く流れている無常観の文学を読む。</p> <p>3 組（金＝午前）「源氏物語（青春篇）」</p> <p>……紫式部が平安の貴族社会に生きる女性たちの苦悩と悲しみを描いた源氏物語。光源氏の生い立ちと青春時代の物語を読む。</p> <p>2・4 組（火・金＝午後）「平家物語（後半部分）」</p> <p>……以仁王の乱から始まる源氏の旗揚げ、北陸の戦い、都落ちを経て、一の谷、屋島、壇之浦と滅びゆく平家の盛者必衰の物語を読む。</p> <p>*なお、主に扱う作品に加え、午前の1・3組ではさまざまな古典詩歌を、午後の2・4組では百人一首の歌を、毎回の講座の初めに紹介する。</p> <p>○教材 ・講師が用意するプリントをテキストとする</p> <p>○経費 ・学級会費（年額）……………1,000 円（テキスト印刷代など）</p>